

寒さなんが
へっちゃらだーい



【鮭と鰯の豆知識】

もういくつ寝ると～お正月♪
お年玉が待ちどおしいですね。

突然ですが、お正月に鮭や鰯を食べますか? 東日本では鮭を、西日本では鰯を食べる習慣があります。鮭は「栄える」、また「生まれた川に帰る」などから「故郷の恵を忘れない」という意味があるそうです。一方鰯は、歳をとるごとにハマチ→メジロ→ブリというように呼び名が変わり、出世魚とわれています。いずれも、お正月のお祝い、ということで食べられています。長野県は、鮭を食べる東北信地方（上田市や長野市）、鰯を食べる中南信地方（松本市や飯田市）に分かれているようです。

鮭といえば北海道が有名ですが、昔はこの上田の千曲川でも鮭がとれました。鮭は生まれた川から海に出て育ち、また生まれた川に戻ってくる習性があります。千曲川では、今から50年～60年位前にダムが建設され、鮭が川に戻って

来れなくなっていました。人工で孵化させた鮭の稚魚を放流し、再び千曲川に鮭に戻そうとしたこともありましたが、飯山市にある西大瀬ダムに数匹が戻ってきただけで、近年は見込みがないため放流もされていません。戻れない原因は、ダムだけでなく環境の汚染にも問題があるようです。

さて、鰯は昔、富山湾でとれたものを塩漬けにして、糸魚川を經由して松本へ、また飛騨を經由して木曾にと、海の無い長野県に運ばれました。鰯は今でも高価な魚ですが、昔は鰯一尾と米一俵との値段が同じだったそうです。正月に鰯を食べることは、とても出世したことでありました。また、当時の人々は正月に鰯の身を食べて、頭と尻尾は神棚に上げて、「来年も鰯を食べられますように」と祈っていたようです。

このように、長野県では、2つの魚のもたらされ方が違ったので、鮭を食べる地域と鰯を食べる地域ができたようです。君の家ではどちらかな?

児童生徒
の皆さんへ!!

おうちの方といっしょに
考えてみようね。
まず、「あいさつ」と
「一日お手伝い」
からかな?

● 上田市 ●

心の教育推進プラン

を提唱します。

大人の方へ!!

お子さんと一緒に
話し合ってください。
上田市では、子どもたちの
人権を守ることを中心に
この運動を展開したい
と考えています。

子どもも大人も、心豊かに過ごせる上田市を創るためには、大人は子どもたちの人権を尊重し、子どもたちとの話しやすい環境づくりに努め、子どもの声に耳を傾け、その心を聴いたり、共感的に受容しながら自らの考えを積極的に示すことが必要です。そして、成長を見守り、理解し合う関係をつくり、子どもを支えるための努力をすることが大切です。いわば、大人自身が良い[＊]生き方、をし、子どもたちにとって[＊]最も身近なお手本。になることです。そこで、長野県教育委員会で提唱している「『共育』クローバープラン」を踏まえ、上田市では「心の教育推進プラン」を提唱します。具体的な内容は、わたしたち一人ひとりが考え、できるところからいっしょに行動していきましょう。

(12月1日に自治会を通じて市内全戸に右のリーフレットをお配りしました。いつでも見えるところに貼っておきましょう。)

1 子どもの人権を守る運動

子どもの育成には、大人の自覚と責任ある行動が大切となります。

子どもが人格の調和のとれた大人に成長するには、大人が子どもの人権を尊重し、平和・尊厳・寛容・自由・平等・連帯の守られる社会の構築が求められます。

2 あいさつ運動

あいさつは、社会性を育てる第一歩です。

学校・家庭・地域が手を携え、子どもの思い、大人の思いを相互に受け止め、ふれあい、共感することで、子どもたちの心の教育推進を展開し、豊かな人間性の育成に努めましょう。学校・家庭・地域で「まず、あいさつから」の運動をしましょう。

◆具体的運動例…「はいの返事」運動、「愛の一声」運動、「ありがとう」運動

3 汗を流そう運動

子どもが汗を流すような体験活動を奨励し、子どもも地域社会の一員であるという自覚を促す機会としましょう。また、地域社会の中での世代間交流の機会としましょう。

さらに、子どもの体験交流などを機会に、親同士もともに汗を流し、交流を深め、子育ての喜びや難しさを語り合える場としましょう。

◆具体的運動例…一日一お手伝い運動、ボランティア活動、自然体験活動、地域での活動(清掃やお祭りの役員として活動)、家庭の中で家族と一緒に仕事(畑仕事・家庭菜園・衣類の整理など)

4 スイッチ・オフ運動

テレビ、ゲーム機、携帯電話等のスイッチを切って、家族や仲間との会話を増やしましょう。

また、必要以上の冷暖房器具の使用はやめ、スイッチを切って、自然を体感しましょう。

◆具体的運動例…テレビ・ゲーム機・携帯電話のスイッチを切り、冷暖房機のスイッチを切る

5 読書運動

読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力や考える力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をよりたくましく、[＊]生きる力、をつけるために大切なものです。昨年の「子どもの読書活動の推進に関する法律」の施行を契機に、家庭・学校・地域の全市的な読書活動を推進しましょう。

◆具体的運動例…朝読書、読み聞かせ、絵本の紹介とプレゼント、図書館の充実とネットワークづくり、児童図書館の読書会活動の推進、音読・朗読を聞きあう

【太陽】

家庭の温かい愛情が一番大切です。
親子の絆を強め、
家庭教育
を大事に
しましょう。

【桜】

桜の花は、上
田市の市章の
デザインです。
心豊かな上田市
を創りましょう。

【地域社会】

地域は、さまざま
体験の場。地域が子
どもたちを育て、家庭
を支えます。

【大人】

良い〴〵生き方。をしてい
る大人が、子どもたちを心
豊かに育てます。

【虹】 (かけはし)

家庭、地域、学校の
連携で、子どもた
ちを温かく育て、
心豊かな社会を
築きましょう。

【水】

自ら学び、
個性の伸長
を図る学
校教育



◆上田市「心の教育推進プラン」についてのご意見・お問い合わせは、

生涯学習課青少年係

(TEL 23-5104 / FAX 23-5103 / E-mail: shogaigakushu@city.ueda.nagano.jp) へどうぞ

●前回の YAっHOー! 13号のパズルの答えと当選者の発表●

※答えは「体育の日」でした。

100 通を超える応募の中から抽選で次の 5 人が当選しました。

- ・山辺 健弘くん (神科小 5 年)
- ・竹下 純くん (塩田西小 5 年)
- ・大角 建人くん (西小 1 年)
- ・山本しおんくん (東小 2 年)
- ・小古 航くん (神科小 3 年)

児童生徒
の皆さんへ!!

計画を立て、
体験活動も含め、
規則正しく
過ごしましょう!

「放課後 及び 休日の過ごし方」 アンケート調査の結果

【2002.11.28 集計】

大人の
皆さんへ!!

アンケート結果をもとに、
子どもと話し合い、体験活動や
おうちのお手伝いなども含め、
休日をも有効に活かしましょう。
また、公民館や地域活動にも、
まず、大人の方から積極的に
関わっていただけたら
いいですね。

平成14年4月から学校週5日制が完全実施されました。それにともない、地域や諸団体では、様々な活動の取り組みが行われています。

そこで、上田市教育委員会では、将来を見据え、子どもや保護者の要望に対し、的確に responding していくため、また、子どもたちや保護者の意識や現状を把握し事業の参考にするため、アンケート調査を実施しました。

対象者は、市内の小学生及び中学生とその保護者です。

小学校16校(230学級)、中学校7校(104学級)のうち、各学級で児童生徒と保護者、それぞれ2名ずつを抽出し、小学校は7,237名のうち、6.4%にあたる460名の児童及び保護者を、また、中学校は3,822名のうち、5.4%にあたる生徒及び保護者208名で、合計では全体の6.0%にあたる668名の児童生徒及び保護者に対し実施しました。

調査方法は、11月18日(月)から11月20日(水)までの間に、各学校を通じ児童生徒及び保護者に調査を依頼し、学校経由で回収していただき、選択式の設問の集計作業については、各小中学校に全面的にご協力いただくことができました。ありがとうございました。結果は、以下のとおりです。

Q

放課後及び休日、あなた(あなたの子ども)は何をして過ごすことが多いですか。(3つ以内：複数回答)

児童生徒
保護者



【放課後】…小学生では、「外での遊び」が31%、中学生では、「学校でのクラブ活動」が36%、また「休養」と「なんとなく過ごす」の合計が37%あり、それぞれ特徴を示しています。

【休 日】…「家族とのだんらん」では、小学生が60%に対し、中学生では17%と低く、逆に「勉強や宿題」という回答について、小学生が31%に対し、中学生では46%と高くなっています。この他、小学生では、「スポーツ」が31%、「外での遊び」が25%。一方中学生では、「休養」と「なんとなく過ごす」を合わせた数字が36%、「友だちと会う」が26%、そして「学校でのクラブ・部活動」が18%となっています。

公民館などの機関や団体で行う休日の体験活動に参加しない、またはできない理由は。(3つ以内・複数回答)。

児童生徒	A	保護者
41 %	行事に魅力がない	39 %
33 %	友達が行かない	40 %
28 %	行事の詳しい内容がわからない	42 %
26 %	行っても知り合いがいない	29 %
25 %	子どもだけでは参加できない	44 %
36 %	その他	47 %

せっかく、行事を計画しても、「行事の詳しい内容がわからない」ため、参加できないというのは、実施する側にとっても、参加する側にとっても残念なことだと思います。

公民館が子どもの休日体験事業として、どんな活動をしているかご存知ですか。

アンケートの結果より「知られていない」というのが現状です。今以上に、PR や情報提供が求められているということでしょう。

この子どもセンター情報誌「YAっHOー!」
もさらに充実するため、編集や企画に小・中
学生の参加をお待ちしています。



休日体験として、公民館や地域の活動として望む活動は。(3つ以内：複数回答)

市内6公民館 (中央、上野ヶ丘、西部、城南、川西、埴田)	A	地域社会 (分館・育成会ほか)
33%	スポーツ	38%
23%	パソコン	41%
23%	自然体験	25%
20%	自然体験	29%
35%	自然体験	25%
22%	料理	47%
19%	料理	13%
15%	宿泊体験	21%
10%	理科の実験	18%
12%	理科の実験	2%
14%	将棋・囲碁	14%
12%	将棋・囲碁	7%
11%	陶芸	4%
11%	陶芸	3%
12%	学校の補習	10%
11%	学校の補習	5%
10%	演劇	9%
7%	演劇	2%
10%	絵画	8%
7%	絵画	2%
10%	英語	9%
7%	英語	7%
9%	職業体験	16%
9%	職業体験	13%
9%	まち歩き・千曲川散策	28%
9%	まち歩き・千曲川散策	22%
14%	ボランティア体験	14%
14%	ボランティア体験	28%
14%	その他	22%
21%	その他	51%

■ 児童生徒
■ 保護者

これらのアンケート結果を参考に、さらによりよい活動にしていただければと思います。そして児童生徒の皆さんにも、大人の皆さんにも、より積極的なかわりを願って、有意義な休日になっていただければと思います。

～ 以上、今後の活動の参考にいただければ幸いです。～

皆さん、上田市内の施設が無料でご利用いただけますよ!!

■ 高校生以下は、池波正太郎真田太平記館も無料に! (原則的に毎日!)

今年7月16日から、市内(在住)の小学生から高校生の皆さんを対象に、「池波正太郎真田太平記館」の観覧料が無料になっているのをご存知ですか。以前から無料となっている下欄の施設も含め、この冬は、真田氏ゆかりの歴史・文学作品などに触れ、ふるさとの歴史や文化に親しんでください。新たなふるさと上田の再発見ができるかもしれません。なお、12月28日(土)から1月3日(金)までは休館です。

☆対象者：市内在住の小学生、中学生及び高校生

☆受付で、学校・学生、氏名など言って「お願いします。」と言って、静かに見学しましょう。

◆ 今回新たに無料化を実施した施設

施設名	内 容	所在地	電話番号	休館日
池 波 正 太 郎 真 田 太 平 記 館	池波氏の作品や遺愛品のほか「真田太平記」の紹介をしています。2つの蔵は、シアターとギャラリーになっています。シアターでは、「上田攻め」と「城下町上田」を上映。	上田市中央 3-7-3 (原 町)	28-7100	毎週水曜日、 祝日の翌日、 12/28～1/3

◆ 既に無料になっている施設

施設名	内 容	所在地	電話番号	休館日
博 物 館	上田城が築かれた戦国時代から第二次世界大戦までの上田の歴史がわかります。	上田城跡 公園内	22-1274	毎週水曜日、 祝日の翌日、 12/28～1/3
山本鼎記念館	山本鼎の油絵、版画などの作品のほか、農民美術、児童自由画教育の資料が展示されています。	上田城跡 公園内	22-2693	毎週水曜日、 祝日の翌日、 12/28～1/3
上田城櫓櫓門	県宝の櫓櫓(やぐら)と復元された「櫓門」の内部を見学できます。	上田城跡 公園内	22-1274	毎週水曜日、祝 日の翌日、11月 ～翌年3月閉館
信濃国分寺 資 料 館	石器時代から平安時代までの歴史が学べます。特に、奈良時代の国分寺の資料が多く展示されています。	国道18号線 沿いの国分寺 史跡公園内	27-8706	毎週水曜日、 祝日の翌日、 12/28～1/3
旧 宣 教 師 館	明治時代に婦人宣教師の住宅として建てられたアーリーアメリカン様式の市指定の文化財です。	下之郷 リサーチ パーク内	39-0548	毎週水曜日、 祝日の翌日、 12/29～1/3

■ アクアプラザ上田【TEL 26-2626】(秋から冬の土曜日)

今年から、秋から冬の土曜日は、小・中学生は無料です。波のプール、スライダー、溪流下りなどが待っています。

- ・対象者：市内在住の小・中学生(保護者・高校生は有料)
- ・期 間：10月～翌年3月までの毎週土曜日(ただし、12月28日(土)は休館日です。)
- ・受付方法：受付簿に名前などを書いてください。
- ・その他：(これは守ってください) ①小学生は、必ず保護者同伴/②中学生は2人以上での入場必要
- ・利用時間：午前10時～午後8時30分(ただし、日曜・祭日は午後4時30分まで)
- ・交通機関：バス利用のかたは、右岸循環バス西コースを利用してください。

12/28(土)～12/31(火)
は休館です

■ 上田創造館【TEL 23-1111】(毎週土曜日)

以前から土曜日は、上小地域の小中学生及び保護者には次の施設が無料です。

- ①プラネタリウム室、視聴覚室衛星通信は毎週土曜日
- ・プラネタリウム「冬の星座と南極」午後1時30分からと午後3時からの2回
- ・「子ども放送局」放映 午前10時30分から12時まで
- ②体育館は、個人使用に限り毎週土曜日

● イベント情報のページ ●

★上田創造館 (TEL 23-1111 FAX 24-4100) から

(12月29日から1月3日まで休館)

● **プラネタリアム特別投影**
と き: 1月4日(土)から8日(水)、3月21日(金)から31日(月)
午後1時30分、午後3時からの2回
参加費: 大人260円、小中学生110円、高校・大学生210円

● **モーターを使った工作**
と き: 1月18日(土)午前10時から11時30分まで
材料費: 1人500円
申し込み: 定員20名、1月12日(日)までに

● **折り紙教室**
と き: 1月25日(土)午前10時から12時まで
内 容: 冬の花や節分の虎を折ろう
参加費: 1人300円

● **プラネタリアムで星座を探そう**
と き: 1月25日(土)、3月8日(土)
それぞれ午前10時から11時まで、無料

● **星空観望会**
と き: 2月1日(土)午後7時30分から9時まで、無料
参加される方は午後7時までに市制してください。
ただし、小中学生は保護者同伴で。

● **模型飛行機づくり**
と き: 2月15日(土)午前10時から11時30分まで
材料費: 1人550円
定 員: 24名、参加希望者は2月9日(日)までに

● **電子工作教室**
と き: 3月15日(土)午後1時30分から4時まで
材料費: 1人800円
定 員: 10名、参加希望者は3月9日(日)までに

● **第16回 上小地域小中学生児童生徒作品展**
期 間: 12月21日(土)から1月13日(月)まで
時 間: 午前9時から午後4時30分まで
会 場: 2階美術館、入場無料

★「市民の森スケート場オープンのお知らせ」

期 間: 12月21日(土)から2月16日(日)まで
(ただし、12月31日、1月1日は休場です。)
入場時間: 午前9時から午後4時まで
料 金: 大人750円、中学生以下・村漁人300円(未就学児は無料)

● **「市民の森スケート場まつり」**
と き: 1月11日(土)午前9時から午後4時まで
ところ: 市民の森スケート場
とん汁サービス、その他楽しいイベントが盛りだくさん。
先着600名に記念品プレゼント(入場無料)。
問い合わせ:
市民の森スケート場(TEL 27-9396、体育課 TEL 23-5105)

★第51回 市民総合体育大会冬季部門市民スキー大会

と き: 2月16日(日)
ところ: 雪平高原ホワイトダボス オオマツスキー場
参 加: 市内小学生から一歳(中学生以下の方は保護者の承諾が必要です)
参加料: 中学生以下1,000円

★上田萬画大学2003

と き: 3月21日(金)・22日(土)・23日(日)・25日(火)(予定)
ところ: 上田市マルチメディア情報センター
内 容: デジタルマンガコース、デジタルアニメコースの2コース
を設けてそれぞれのプロの方にマンガの書き方やデジタル
色彩の仕方などを学びます。
募集人数: デジタルマンガコース 定員20名
デジタルアニメコース 定員10名
問い合わせ: 上田市マルチメディア情報センター(TEL 39-1000)
(1月中旬にはくわしいことが決まります)

★「親子でもちつき体験」してみませんか?

と き: 12月23日(月・休日)午前11時から午後1時
ところ: 室賀温泉ささらの湯
おもちの無料サービスもあります。家族で来てね
問い合わせ: 室賀温泉ささらの湯(TEL 31-1126)

★子ども劇場からのお知らせ

会 費: 1ヶ月1,400円、入会費200円
問い合わせ: 上田子ども劇場(TEL 27-4756)
①「マンナ・カッテドコ」～対象: 幼児・小学生～
日 時: 2月28日(金)・3月1日(土)
場 所: 上田市内公民館等
②「松元 ヒロ ソロライヴ」～対象: 中学生以上～
マイム&トークで語る 社会風刺コメディ
日 時: 4月5日(土)
場 所: 信州国際音楽村

★黒坂正文 30周年記念リサイタル in 上田

歌とコカリナのコンサート
コカリナ合奏と一緒にステージで演奏しませんか?
日 時: 3月29日(土)
場 所: 上田市民会館ホール
主 催: コンサート実行委員会(TEL 27-4756)
共 催: 上田市教育委員会
入場料: 有料

★上田岳風会(かくふうかい)子ども詩吟教室

第2・第4土曜日/連絡先 森田さん(TEL 23-2589)

★忍遊塾(にんゆうじゅく)忍者体験

第2土曜日と翌日/連絡先 金吾寺(TEL 22-3450)

★子どもの囲碁教室

毎週火・木・土曜日/連絡先 竹田さん(TEL 23-2143)

★「発見・感動! 冬の自然を探検しよう」

— ウォーキングスキーハイキング —
と き: 3月2日(日)
午前8:00 別所温泉・上田まほろばユースホテル集合
午後4:30 同所解散予定
行き先: 霧ヶ峰高原一帯
車で移動、霧ヶ峰高原でウォーキングスキーを楽しむ
参加者: 小学生、中学生とその保護者
(特に保護者はいなくても良い)
参加費: ¥4,600(昼食費、保険料、レンタルスキー代を含む)
服装、持物: スキーの出来る服装、手袋、サングラスなど
申し込み・問い合わせ先:
上田まほろばユースホテル(TEL 38-5229)

★「NPO法人フォレスト工房もくり」からお知らせ

わんぱく森林塾参加者募集
①きこり入門 間伐体験学習
と き: 1月11日(土)午後1時30分から4時
参加費: 1人600円/家族1200円
②雪の森を歩く/スノートレッキングと動物の足跡調べ
と き: 2月8日(土)午後1時30分から4時
参加費: 1人600円/家族1200円
③果箱作りと果箱かけ
と き: 3月15日(土)午前9時30分から午後2時
材料費: 1個600円
問い合わせ: フォレスト工房もくり(TEL 61-5488/FAX 61-5489)

★上田市ボランティアセンターからのお知らせ

①レス/バイトサービスボランティア募集(対象: 高校生)
内 容: 養護学校に通う子どもたちと一緒に遊ぶ(家庭をサポート)
期 間: 12月28日(土)～12月30日(月)
1月4日(土)～1月7日(火) (一日だけでも結構です。)
時 間: 午前9時から午後5時
場 所: 真田町生涯学習館(真田町長(おさ)1)
その他: 上田駅から送迎もあります。
②スプリングチャレンジボランティア参加者募集
内 容: 市内の社会福祉施設・事業所等でボランティア体験学習
事前研修: 3月9日(日) 午前10時から12時
上田市ふれあい福祉センター2階
体験期間: 3月13日(木)～31日(月)
場 所: 市内社会福祉施設及び事業所など
対 象: 中学生以上で、期間中、同一施設の指定日に参加できる方
申し込み: 2月に各学校あて募集案内を送ります。
上田市社会福祉協議会へ2月21日(金)までに、
学校単位で取りまとめ、申し込みください。
その他: ①とともに「ボランティア保険料(500円)」がかかる場合があります。
問い合わせ: 上田とも上田市ボランティアセンター(TEL 25-2629)

★山本鼎記念館からのお知らせ (TEL 22-2693)

● **版画年賀状展**
と き: 1月6日(月)～21日(火)
● **第2回 山本鼎版画大賞展 児童生徒の部**
展覧会: 2月14日(金)～23日(日)
会 場: 上田市観光会館(上田城址公園前)
出展募集のお知らせ
募集期間: 1月10日(金)～25日(土)
テ ー マ: 自由、出品料: 無料
大 き さ: 60cm×45cm以内の平面作品
詳しくは、山本鼎記念館へ
● **第38回 上小地区児童生徒版画展**
と き: 2月11日(火)～22日(土)

毎月第3日曜日は、家庭の日です。
みんなも家族の大切な一員。
おうちのお手伝いも進んでしようね!

展示作品
募集!!

YAっHOー!

あつとアート・
フェスティバル 2003

平成15年

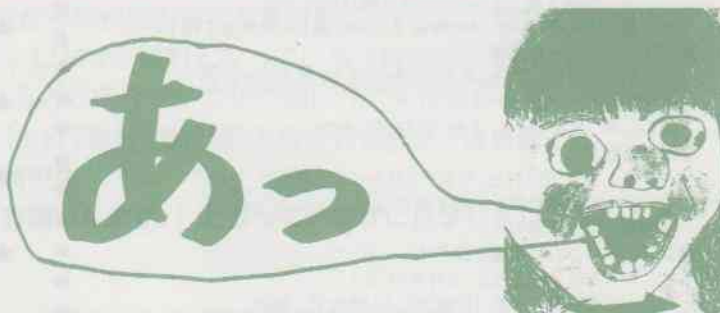
1/22(水)~29(水)

AM10:00~PM6:00

上田創造館 2F 美術館

主催: 上田子どもセンター

後援: 上田市、上田市教育委員会



★あつと、おどろくような作品をお待ちしております。
★出した人も、出さなかった人もみんなで見に来てね。

■対象

幼児~高校生(ただし、親子の合作も可)

■作品の分野、点数など

1. 応募作品は1人1点とし、先着70作品とする。
2. 立体作品(工作も可)は1m×1m×2m(高さ)までとする。
3. 絵画のサイズは、最大模造紙の大きさとする。
4. 写真はカラー、モノクロ問わず。サイズは全紙までとする。

■応募期間

平成15年1月15日(水)までに、
申し込み用紙を送ってね。(必着)

■応募方法

申し込み期間内に、右の申し込み用紙に必要事項を記入して、上田市教育委員会生涯学習課(子どもセンター事務局)まで郵送またはFAXでお申し込みください。

〒386-0025 上田市天神2-4-74

TEL. 0268-23-5104

FAX. 0268-23-5103

※作品は、前日(1/21)2階美術館に搬入・展示。そして最終日の翌日(1/30)に搬

出をお願いします。(いずれもPM1:00~6:00)

※作品のキャプション(題名、作品説明など)も搬入時にお持ちください。

※立体作品は1作品¥500、絵画・写真は1作品¥300を搬入時にいただきます。

■お問い合わせ先

実行委員長 竹田まで
(TEL. 0268-27-5025)

官製ハガキに申し込み
用紙と同じように書いて
送ってもいいヨ!

YAっHOー! あつとアート・フェスティバル2003 申し込み用紙

平成 年 月 日

○応募分野

※分野に○をつけてください

絵画

写真

立体作品

の分野に申し込みます。

(大きさ)

氏名	保護者 氏名
住所 〒	TEL. FAX.
学校、団体名 (学年、年齢)	親子合作 有・無

なお、今まで皆さんからいただいた、クイズのハガキやおたよりの中からも多数展示します。お楽しみに!!

【編集後記】

千曲川の源流をたずねる旅に参加しました。しばらく、山登りをしていなかったもので、軽い気持ちで行ったのがいけなかったのです。行きはよいよい帰りは怖いのごとく、すばらしい景色、川の流れを横目で見ながら、意気揚々と登って行きました。やっとのことで、水源にたどりついたのですが、帰りがたいへんです。ひさがガクッとしてしまい、両手に杖の杖をついての下山でした。「もう、こりたでしょう。」のごとくに、また、あのすばらしい景色をもう一度見たくなくなってしまったのです。

今回から「YAっHOー!」を、中学生の皆さんにも全員に配布しました。小中学生の編集企画員を募集します。やってみませんか!! (貴)

子ども情報誌「YAっHOー!」

第14号 2002.12.20 発行

発行 上田市教育委員会(生涯学習課)

編集 上田子どもセンター企画運営委員会

(事務局) 上田市教育委員会(生涯学習課)

TEL. 0268 (23) 5104 【直通】

URL <http://www.city.ueda.nagano.jp>

~情報提供のしかた~

◆郵送◆ 〒386-0025 上田市天神2丁目4番74号

◆FAX◆ 0268 (23) 5103

不明な点は(事務局)までお気軽にお問い合わせを。
上田子どもセンター事務局 TEL. 0268 (23) 5104

●次回は2003年5月発行予定です。●

E-mail: kodomo-center@city.ueda.nagano.jp